

2023年12月19日

各 位

インド工科大学デリー校との共同開発の実施について

当社（社長 納武士）は、インド工科大学デリー校（インド共和国）とグリーン水素製造技術分野での共同開発を実施することとし、同校内に開発センターを設置いたしましたのでお知らせいたします。なお、MOU（基本合意書）締結式を12月11日に実施いたしました。

当社はパーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、社外力（お客様、パートナー企業、大学等）と当社の強み（コア技術・ノウハウ・販売チャネル）を融合することで、持続可能な社会の実現に貢献する新規事業の創出に取り組んでいます。

インド国は、水素ハブ国への転換を国策として政策面で強力に牽引する中、将来の水素生産地および消費地として期待されており、さらに欧州等の国際的に重要な水素生産地および消費地に近いため、現在多くのグリーン水素製造計画が存在し、グリーン水素技術開発における重要度が高まっています。インド国の中でも、インド工科大学デリー校は当該分野での幅広い知見と多くの研究実績があります。この度当社は、同校とグリーン水素製造を目的とした水電解電極の共同開発を実施することといたしました。この共同開発は、当社事業創造本部 総合研究所の人材を、触媒事業のインド国子会社で触媒ビジネスと新規領域の開発を行っているMitsui Kinzoku Components India Private Limited（MKCI）が同校内に設置したMKCI Delhi開発センターに派遣し、同センターにて同校の研究者と協力して実施いたします。また同開発センターでは、インド国内および欧州や中東等におけるグリーン水素に関するマーケティング活動も実施する予定です。

当社は、インド工科大学デリー校との共同開発を通じ、当社の保有する様々な触媒技術等を応用することで、脱炭素社会の実現に貢献するグリーン水素分野での開発を推進してまいります。

以 上

【開発センターの概要】

1. 名称	MKCI Delhi 開発センター
2. 目的	グリーン水素製造を目的とした水電解電極の開発
3. 活動内容	新規材料の合成と試作電極製造 グリーン水素に関するマーケティング活動
4. 開発の当事者	インド工科大学 Suddhasatwa Basu 教授 Mitsui Kinzoku Components India Private Limited
5. 設置場所	インド工科大学デリー校内
6. 共同開発期間	2023年9月～2028年9月



MOU 締結式の様子

(前列左：当社 安田事業創造本部長、前列右：インド工科大学デリー校 学長 Banerjee 教授)

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 E-mail PR@mitsui-kinzoku.com